

2022.9.28 summer



みどり
水土里ネット

未来の「水」「土」「里」を
創造する

新潟の土地改良

新潟県土地改良
事業団体連合会

Vol.616

令和4年度 第2号

Contents

要請活動	1	ほ場整備地区園芸産地化現地研修会	6
農業農村整備の集い	2	令和4年度 新潟県経営体育成農地集積促進協議会通常総会	7
進藤金日子参議院議員の災害視察／ 令和4年度 新潟県農村振興技術研修会	3	令和4年度 土地改良区(連合)新採用職員基礎研修	8
令和4年度 北陸ブロック土地改良区体制強化事業新規担当者研修	4	令和4年度 新潟県土地改良事業団体連合会 第1回技術部研修会	9
令和4年度 新潟県担い手経営発展推進大会	5	連合会日誌／表紙写真紹介	10

要請活動

去る6月13日及び14日の2日間、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会は、農林水産省、財務省、自民党本部に対して、令和5年度予算確保に向けた要請活動を行いました。

農林水産省では、中村農林水産副大臣、宮崎農林

水産大臣政務官へ、財務省では、鈴木財務大臣へ、自民党本部では、麻生副総裁、二階全土連会長へ要望書を手交し、各県の事業推進や農村振興、課題等の状況と要望を伝えました。

要請のポイント

- 土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、現場のニーズに応えられるよう、必要な予算を確保すること。特に、防災・減災国土強靱化対策のための5か年加速化対策については、令和5年度以降も令和4年度と同様に十分な予算を確保すること。
- 農業競争力強化のため、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化、農地の大区画化、汎用化、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 農村地域においても国土強靱化を図るため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。



＜ 北陸四県土連の会長らが、
中村農林水産副大臣へ要望書を手交 ＞



＜ 北陸四県土連の会長らが、
麻生副総裁へ要望書を手交 ＞



＜ 北陸四県土連の会長らが、
鈴木財務大臣へ要望書を手交 ＞



＜ 北陸四県土連の会長らが、
二階全土連会長へ要望書を手交 ＞

農業農村整備の集い

去る6月14日、シェーンバッハ・サボー（東京都）において、全国土地改良事業団体連合会・都道府県土地改良事業団体連合会の共催による農業農村整備の集いが開催され、全国から農業農村整備に携わる関係者約950人が参加しました。

開会にあたり、二階全国土地改良事業団体連合会会長から「令和4年度の予算は組織一丸となって努力した結果、令和3年度補正予算を含めて6,300億円を確保することができた。予算をしっかりとし、引き続き農業競争力の強化、農村地域の国土強靱化を推進して頂くよう強くお願い

申し上げます。」と挨拶がありました。

次に、来賓の金子農林水産大臣、森山自民党TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長より祝辞が述べられました。

続いて、知念沖縄県土地改良事業団体連合会副会長から要請書案文が朗読され、満場一致で採択された後、進藤都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問より情勢報告が行われました。

最後に、元木やまがた水土里ネット女性の会会長の発声でガンバロウ三唱が行われ、集いは滞りなく終了しました。

要請書（抜粋）

- 一 食料自給率の維持・向上を通じて食料安全保障に寄与する土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル化、事務手続きの更なる簡素化を図ること。
- 三 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物の転換、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 四 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。
- 五 ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設管理の省力化・高度化を図るとともに、情報通信技術を扱う土地改良技術者等の人材育成を図ること。



<二階全土連会長の開会挨拶>



<会場の様子>

進藤金日子参議院議員の災害視察

去る8月16日、進藤金日子参議院議員が、新潟県の北部に位置する村上市や胎内市、関川村における豪雨被害を受けた農地・農業施設の災害視察を行いました。

災害視察には、県や市、管内土地改良区など被災概要説明者を含め、関係者約30名が同行しました。

一時取水不能となった荒川頭首工や畦畔の崩壊があった水田など、現場の被害状況を確認した進藤議員からは、「昨今の豪雨の激甚化に驚くとともに、災害復旧ならびに防災に全力を尽くしていかなければならない。改良復旧への取組みなど地域の方々の意見を取り入れながら各方面に働きかけを行っていきたい。」と話されました。



被災概要の説明の様子
荒川頭首工(村上市)



畦畔の崩壊があった水田の視察の様子
鍬江地区(胎内市)

令和4年度 新潟県農村振興技術研修会

去る6月15日、新潟県民会館(新潟市)において、NPO法人にいがた水土里支援センター主催による令和4年度新潟県農村振興技術研修会が開催されました。

この研修会では、会員である県や市町村、土地改良区、コンサルタントなどを対象として、農業に関する幅広い情報を提供することで、総合的な技術力の向上を図りながら、新潟県の農村振興に

寄与することを目的としたもので、会場及びオンラインにて約100名が参加しました。

参加者からは、「棚田が有する価値や魅力、過疎地域における活性化のための先進的な取組みなど、中山間地域の活性化の参考となる多くの事例を聞くことができた」といった声が聞かれるなど実りある研修会となりました。

研修会次第

研修内容	講師
開会挨拶	NPO法人にいがた水土里支援センター 理事長 齋藤 瑞穂
講演①「持続可能な棚田地域への課題」	棚田学会 会長 山路 永司
(講演内容) ・棚田の良好な景観の維持及び生産性を向上させるための基盤整備 ・棚田地域の維持保全のための国民意識の醸成	
講演②「過疎地域を救った取組事例～地域おこしの歩み～」	NPO法人地域おこし 理事・事務局長 多田 朋孔
(講演内容) ・クラウドファンディングや動画投稿サイトを活用した農産加工品の生産・販売 ・田植えや稲刈り体験など年間を通じた体験イベント	
閉会挨拶	NPO法人にいがた水土里支援センター 副理事長 中俣 昭雄

令和4年度 北陸ブロック土地改良区体制強化事業新規担当者研修

去る8月24及び25日の2日間、県土連ビル（新潟市）において、石川県土地改良事業団体連合会（幹事県）が主催する北陸四県の県・市町村・県土連・土地改良区の新規の換地担当者を対象とした令和4年度北陸ブロック土地改良区体制強化事業新規担当者研修が開催されました。

この研修には、換地事務の基本的な知識の習得を目的として、北陸四県からオンラインで約50名が参加しました。

石川県土地改良事業団体連合会の古西参事の挨拶で開会し、2日間で7つの講義が行われました。

研修に参加した本会換地部職員からは、「換地業務の全体の流れをしっかりと把握することで、

普段行っている業務の理解増進につながった。今後の業務の励みになった。」といった感想が聞かれるなど、充実した研修となりました。



＜オンライン研修の様子＞

研修次第

8月24日	
研修内容	講師
開会挨拶	石川県土地改良事業団体連合会 参事兼企画調整監 古西 広
土地改良法の概要	北陸農政局 農村振興部 土地改良管理課 農地集団化係 石井 哲平
（講義内容）・土地改良事業や交換分合など全7章（第1～145条）+附則で構成された土地改良法の構成 ・交換分合と換地処分の概要と制度の仕組みや対象といった面からみた両制度の比較	
土地改良換地制度の概要	北陸農政局 農村振興部 土地改良管理課 土地改良指導官 田中 卓也
（講義内容）・区域区分の原則といった換地の三原則や対応換地といった換地手法の仕組み ・基礎調査・地域営農調査から清算金の徴収・支払いまでの換地業務の流れと各工程の業務紹介	
相続登記について	金沢地方法務局 地図整備・筆界特定室 登記専門職 竹田 亘孝
（講義内容）・法務省民事局への問い合わせなど実例を用いた「相続関係説明図」に関する説明 ・記録例や記載例を用いた「法定相続人情報」に関する説明	
不動産登記法及び土地改良登記令	金沢地方法務局 地図整備・筆界特定室 登記専門職 竹田 亘孝
（講義内容）・不動産登記法に基づく不動産登記制度の目的や不動産登記の意義 ・土地改良登記制度の概要や代位登記、換地処分の登記処理の流れ	

8月25日	
研修内容	講 師
測量法に基づく公共測量の諸手続き	国土地理院 北陸地方測量部 測量課 測量係長 梅井 迪子
（講義内容）・公共測量の概要と確定測量図作成など公共測量に該当する具体的な作業の紹介 ・公共測量計画の作成から成果公表・管理までの流れと各工程の業務説明	
換地計画書作成実務 ～ほ場整備事業における換地の流れ～	石川県土地改良事業団体連合会 事業部 換地課 課 長 倉田 景一
換地計画書作成実務 ～換地設計基準、評価基準、換地計画書作成～	
（講義内容）・換地計画書作成までの工事と換地業務の流れ ・換地計画書の構成と各項目の作成におけるチェックポイント	
閉会挨拶	石川県土地改良事業団体連合会 事業部長 中井 悟

令和4年度 新潟県担い手経営発展推進大会

去る8月8日、ANAクラウンプラザホテル新潟（新潟市）において、新潟県担い手育成総合支援協議会主催による令和4年度新潟県担い手経営発展推進大会が開催されました。

この大会には、経営規模の拡大等による安定的な農業経営の実現のため、関係者と情報共有することを目的として、会場及びオンラインにて約200名が参加しました。

石山協議会長による開会挨拶の後、令和4年度新潟県優良農業経営体等表彰式、表彰受賞者による事例発表や基調講演が行われました。

事例発表や基調講演終了後には、時間内には収まらないほど多くの質疑応答がなされ、関係者間の情報の共有がしっかりと行われた大会となりました。

令和4年度 新潟県優良農業経営体等表彰の受賞者

部 門		地 区	経営体名
優良認定農業者の部	経営改善部門	新潟市南区	(有) 盈科 ※
		柏崎市	(株) ファーロ
		長岡市	田口 正一
	生産技術革新部門	新発田市	(株) そうえん ※
	6次産業化部門	上越市	(有) 内山農産
	販売革新部門	津南町	(株) 鬼や福ふく
		魚沼市	(農) 一日市ひかり農産
働き方改革の部		新発田市	(有) アシスト二十一
むらづくりの部		津南町	三箇地区都会との交流を進める会
農福連携の部		十日町市	NPO法人支援センターあんしん

※は事例発表を行った経営体

表彰受賞者による事例発表及び基調講演

事例発表



有限会社 盈科(えいか)
代表取締役 児玉 智志 氏

「「水 稲」＋「ル レク チェ」で120haの大規模経営を実現!」と題して、農地バンクを活用し、経営規模の拡大を図りつつ、果樹栽培を積極的に取組んだ事例について紹介がありました。



農業生産法人 株式会社そうえん
代表取締役 下條 聡郎 氏

「農業から産業へ」と題し、GAPの仕組みを利用した農業経営の取組みについて紹介がありました。

基調講演



農業ジャーナリスト
山田 優 氏

「激変する世界の食料事情と日本農業の進むべき道」と題し、農薬や肥料の削減による資源循環型農業への転換など、日本農業の発展に必要な取組みについて講演がありました。

ほ場整備地区園芸産地化現地研修会

新潟県が主催する本研修会は、ほ場整備地区農業者、市町村、土地改良区、農業協同組合を対象としたもので、新潟県の各地域で複数回に分けて開催されます。

去る8月5日、長岡中部地区(長岡市)において、第1回目のほ場整備地区園芸産地化現地研修会が開催されました。

この研修会には、作業の機械化による枝豆の効率的な作付けを行っている新潟県のモデルほ場を

視察し、園芸導入及び拡大への理解を深めることを目的として関係者約100名が参加しました。

研修会では、枝豆の収穫実演やモデルほ場の栽培概要について説明を受けたあと、JAの集出荷施設を見学しました。

収穫実演や集出荷施設を見学など、機械による作業効率化を間近で体感することができた貴重な研修会となりました。



< 収穫実演の様子 >



< 自動計量袋詰め機 >

また、去る8月23日、清里第3地区(上越市)において、第2回目のほ場整備地区園芸産地化現地研修会が開催されました。

この研修会には、水田を有効活用した園芸作物栽培の事例として「根域制限栽培」技術を用いた加工用ぶどうの栽培の取組みを視察し、園芸導入及び拡大への意欲を高めるを目的として関係者

約80名が参加しました。

研修会では、ほ場を視察しながらほ場整備地区の概要等について説明を受けたあと、地元の老舗ワイナリーを見学しました。

参加者は、土質によって制限されない園芸栽培方法等について理解を深めることができ、有意義な研修会となりました。

根域制限栽培とは

根の動きや働きを物理的に制限することで、果実等の品質向上を目的とした栽培方法。

ポットを使用し、水田から切り離すことで、重粘土質で水はけが悪く栽培には不向きとされてきた本地区でも高品質のぶどう栽培が可能となった。



「根域制限栽培」により栽培可能となった加工用ぶどう。水田で使用している灌水システムを利用することで、水分コントロールが容易に。



高品質のワインを製造する老舗のワイナリー。加工用ぶどう生産者と連携し、魅力ある産地形成を目指している。

令和4年度 新潟県経営体育成農地集積促進協議会通常総会

去る8月19日、県土連ビル(新潟市)において、令和4年度新潟県経営体育成農地集積促進協議会通常総会が開催されました。

この協議会は、関係市町村、土地改良区を構成員とし、農地の集積・集約化の推進を通じて、活力ある農業・農村を実現することを目的に事業を行うものです。

総会当日は、会員土地改良区及びオブザーバーとして県農地部職員や本会の役職員など17名が参加しました。

濱田協議会長の挨拶で開会し、上程された5議案について全会一致で承認可決されました。



濱田協議会長
(西蒲原土地改良区理事長)

議 案

- 第1号議案 令和3年度事業報告について
- 第2号議案 令和3年度収支決算について
- 第3号議案 令和4年度事業計画について
- 第4号議案 令和4年度会費の割当及び徴収時期について
- 第5号議案 令和4年度収支予算について



< 通常総会の様子 >

通常総会后、新潟県農地部農地整備課の伊藤課長より講演が行われ、「経営基盤の強化に資する生産基盤整備」と題し、ほ場整備を契機とした園芸

作物の生産拡大への取組み等について紹介がありました。

< 講演内容の一例 >

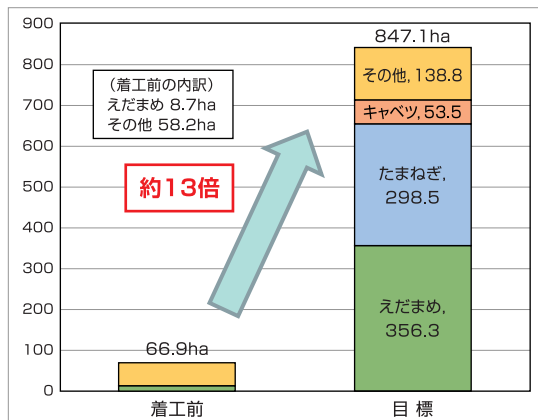
園芸作物の生産拡大

①ほ場整備を契機とした園芸導入

- ほ場整備事業の新規着工地区の園芸導入・拡大計画
地域の推進チームが中心となって地域の意向を踏まえた園芸導入・拡大計画の策定を支援

令和元年度以降新規着工地区の園芸作付目標面積

全51地区の事業完了後から概ね5年後までの園芸作付目標面積の合計は、約850haで、受益面積の2割に相当



	R1~R4 新規着工地区
地区数	51 地区
地区面積 計	4,107ha
うち園芸作付面積	847.1ha
園芸作付割合	20.6%

(講演資料より一部抜粋)

令和4年度 土地改良区(連合)新採用職員基礎研修

去る8月4及び5日の2日間、県土連ビル(新潟市)において、県内土地改良区(連合)及び本会の新採用職員を対象とした、令和4年度土地改良区(連合)新採用職員基礎研修を開催しました。

この研修会には、ビジネスマナーや土地改良に関する基本的な知識の習得を目的として、約50名が参加しました。

研修会に関するオリエンテーションが行われたあと、2日間で7つの講義を行いました。

ビジネスマナーの講義では、グループ形式での対話やワークショップが行われ、知識の習得と同時に関係者との交流を深められるなど、充実した研修会となりました。

研修日程概要

8月4日		
講義内容	講 師	
開講式 オリエンテーション	新潟県土地改良事業団体連合会	事務局
ビジネスマナー	ミワアシスタンス	人材育成アシスタント 近藤 美和
(内 容)・上手な報告・連絡・相談の仕方などのビジネスコミュニケーションについて ・物事を正確に伝えることをテーマとしたワークショップ		
働く人のための関係法令の基礎知識のポイント	樋口社会保険労務士事務所	樋口 憲一
(内 容)・労働時間や休暇日数に関する労働基準法の基本確認 ・医師の面接指導(労働安全衛生法)やパワハラ(労働施策総合推進法)などの労働関係法令の紹介		
土地改良区の運営と土地改良法	新潟県土地改良事業団体連合会	総務部 次長 高橋 義一
(内 容)・土地改良区の組織や組合員の権利・義務など土地改良区の概要 ・会計経理の組織体系、当初予算や補正予算といった予算の種類など土地改良区の会計について		

8月5日		
研修内容	講 師	
国・県予算の成立と補助金の仕組み	新潟県農地部農地管理課予算第1係	副参事 勝沼 寛
(内 容)・予算編成フレーム公表から当初予算成立までの予算編成の流れ ・農業競争力強化基盤整備事業など国の農業農村整備関連補助金・交付金の概要		
土地改良施設の日常管理与事業の活用	新潟県土地改良事業団体連合会	技術部 施設管理課 課長 岡本 英樹
(内 容)・目視や聴音、打診や手動など点検・整備方法 ・長寿命化対策における基幹水利施設ストックマネジメント事業の活用		
事業実施・施工管理	新潟県土地改良事業団体連合会	技術部 部長 竹内 源人
(内 容)・概算事業費算定などの事業申請の準備から請負設計書作成などの工事の実施までの流れ ・発注者と受注者の立場から見た契約から工事の完了検査までの役割		
換地概論	新潟県土地改良事業団体連合会	換地部 部長 本間 英樹
(内 容)・事業推進委員会の設置など事業採択に向けた換地業務の流れ ・従前図調整といった換地選定や換地計画書作成といった換地処分など事業確定後に行う換地業務の流れ		
閉講式	新潟県土地改良事業団体連合会	事務局



< 社会保険労務士 樋口氏 >



< 予算第1係 勝沼副参事 >



< ビジネスマナー講義の
ワークショップの様子 >

令和4年度 新潟県土地改良事業団体連合会 第1回技術部研修会

去る7月26日、県土連ビル（新潟市）において、令和4年度新潟県土地改良事業団体連合会第1回技術部研修会を開催しました。

この研修会では、業務に必要な積算や用水計画などの基礎的な知識について再確認することを目的に、本会技術部の職員約60名が参加しました。

本会の小林事務局長の挨拶で開会し、業務に精通した本会職員を講師として、4つの講義を行いました。

参加した職員からは、「普段、流れて行っていた業務を改めて見直す貴重な機会となった。」といった声が聞かれ、充実した研修会となりました。

研修次第

研修内容	講 師
開会挨拶	事務局 局長 小林 由紀雄
ため池サポートセンター 防災重点農業用ため池 現地パトロールの手法	技術部 次長 大 藤 佳 正
（研修内容）・ため池サポートセンターの設立目的や組織概要、主な活動の紹介 ・ため池管理マニュアルに基づいた現地パトロールの手法について	
パイプラインの基礎技術について	技術部設計第1課 技師 五十嵐 悠
（研修内容）・許容設計流速や水利計算などのパイプラインの水理設計 ・埋設深を想定する縦断計画や荷重の設定などパイプラインの構造計算までの流れ	
ISO基準による農業用ポンプの振動評価の取り組み	技術部施設管理課 課長 岡 本 英 樹
（研修内容）・ポータブル振動計とレーザーアライメント計測による振動計測について ・ISO判定基準に基づく振動計測の結果と分析	
資格取得に向けて	技術部設計第1課 課長 山 崎 悟
（研修内容）・本会の資格取得状況と資格取得に向けた試験傾向等の分析	



< 大藤 次長 >



< 五十嵐 技師 >



< 岡本 施設管理課長 >



< 山崎 設計第1課長 >

連合会日誌

7月 4日(月)	新潟県ため池サポートセンター 第1回通常総会	県土連ビル (オンライン同時開催)
11日(月)～15日(金)	令和4年度 土地改良区体制強化事業施設管理研修(発電施設)発電維持管理研修	オンライン
14日(木)	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	オンライン
19日(火)	令和4年度 新潟市土地基盤整備促進協議会 通常総会	県土連ビル
25日(月)	令和4年度 新潟県土地改良事業団体連合会 第1回技術部研修会	県土連ビル
8月 4日(木)～5日(金)	令和4年度 土地改良区(連合)新採用職員基礎研修	県土連ビル
5日(金)	ほ場整備地区園芸産地化現地研修	長岡市
8日(月)	令和4年度 担い手経営発展推進大会	新潟市 (オンライン同時開催)
19日(金)	新潟県経営体育成農地集積促進協議会 令和4年度通常総会	県土連ビル
23日(火)	ほ場整備地区園芸産地化現地研修	上越市
24日(水)～25日(木)	令和4年度 北陸ブロック土地改良区体制強化事業新規担当者研修	県土連ビル

表紙写真紹介



おおこうづ

大河津分水通水100周年田んぼアート (7月13日撮影)

大河津分水(燕市)は、越後平野の中央部に位置し、信濃川に流す水量を調整する洗堰、大河津分水路に流す水量を調整する可動堰の2つの堰により日本一の水量を誇る信濃川の流れを調整しています。

2022年は、通水100周年という記念すべき年で

あることから、大河津分水の景観をイメージした田んぼアートが実施されました。

「大河の恵み」をテーマに、信濃川と大河津分水路の景観が描かれたほか、通水により農業が発展したことを表す米俵の絵柄が加えられ、大河津分水の恵みへの感謝が表現されました。



未来の「水」「土」「里」を創造する

